

Green Festival

第430回

5月30日(日) 15:00開演

マウロ・イウラート、伊藤ルミ、デュオ・リサイタル ~ブラームス・シリーズI~

出演/マウロ・イウラート (ヴァイオリン)、伊藤ルミ (ピアノ)

イタリアのヴァイオリニスト、マウロ・イウラートさんと、神戸のピアニスト伊藤ルミさんによるデュオ・リサイタルで、前半はモンティ「チャールダーシュ」などイタリアの小品集、後半はブラームスのソナタ第3番を中心にした重厚なプログラムです。二つの楽器による多様な音楽世界をお楽しみください (曲目の詳細は裏面をご覧ください)。

第431回

6月5日(土) 15:00開演

弁士・伴奏付き映画『メトロポリス』上映会

上映作品/『メトロポリス』Metropolis (フリッツ・ラング監督、1927年)

出演/大森くみこ (弁士)、鳥飼りょう (ピアノ)

第432回

6月13日(日) 14:00開演 ※本学課外活動団体による公演

神戸学院大学吹奏楽部 第34回サマーコンサート ~新世界~

指揮/松井隆司 (音楽監督) 高田颯士 (学生指揮者) 長山恵太 (学生指揮者)

第433回

7月10日(土) 15:00開演

狂言をたのしむ会

演目/『蝸牛』・『口真似』・『二人袴』・『水掛罨』

出演者/茂山千五郎、茂山茂、茂山竜正、茂山虎真、茂山鳳仁、茂山蓮、網谷正美、松本薫、島田洋海、山下守之、柴田鉄平

第434回

7月18日(日) 15:00開演

アフター・アワーズ・セッション ピアノ三重奏によるコンサート ~ブラームス・シリーズII~

出演/ギオルギ・バブアゼ (ヴァイオリン)、日野俊介 (チェロ)、右近恭子 (ピアノ)

演奏団体アフター・アワーズ・セッションから、ヴァイオリン、チェロ、ピアノのトリオの御出演で、ハイドン、ベートーヴェン、ブラームスそれぞれのピアノ三重奏曲を演奏していただきます。特にブラームスの「ピアノ三重奏曲第1番 口長調 作品8」は、40分を要する重厚長大な音楽で、若きブラームスの熱い気概を感じさせます (曲目の詳細は裏面をご覧ください)。

会場/神戸学院大学 有瀬キャンパス メモリアルホール (9号館6階)

主催/神戸学院大学 後援/兵庫県、(公財)神戸市民文化振興財団 参加/関西元気文化圏

ネットからも
お申し込みが
可能になりました!



新型コロナウイルス感染症予防対策

- ・定員:150名(お申し込み多数の場合は、抽選となります)
- ・受付にて検温のご協力をお願いします。(発熱がある方は入場をご遠慮いただけます。)
- ・マスクを必ずご着用くださいますようお願いいたします。(マスクを着用されていない方は入場をご遠慮いただけます。)
- ・公演は新型コロナウイルス感染拡大により中止となる場合があります。 ※詳細は大学のHPをご確認ください。

https://www.kobegakuin.ac.jp/social_contribution/greenfes/

お申し込み方法

2通りのお申し込み方法があります。

①QRコードによるお申し込み
右にあるQRコードよりお申し込みください。

②往復はがきによるお申し込み

・往信裏面に①公演日 ②公演名 ③住所 ④氏名(ふりがな) ⑤電話番号をご記入ください。

・返信表面にお申し込みの方の郵便番号、住所、氏名をご記入ください。

・返信裏面は空白のままをお願いします。

・1枚につき1公演、1名様のみのお申し込みになります。

受付期間は各公演の3週間前(必着)です。

(※土曜日の場合は月曜日、日曜日・祝日の場合は翌日)

学齢期に達していないお子さまのみのお申し込みおよび入場はご遠慮いただいております。

~個人情報取扱について~

ご記入いただいた個人情報は、電話での申込内容の確認、

入場券の発送(抽選の場合の結果通知含む)、申込み状況の統計分析に限り使用します。

※公演5日前までに抽選連絡が届かない場合は、一度お問い合わせください。



関西から



お申し込み・
お問い合わせ先

〒650-8586

(この郵便番号を使うと住所は省略できます)

神戸学院大学グリーンフェスティバル係

電話 078-974-6105

(担当部署:社会連携グループ)

2021年(春季) 神戸学院大学 Green Festival

ご案内

グリーンフェスティバルは、地域の方々や本学の学生・教職員に様々な舞台芸術に接していただくべく、毎年春と秋に各4~9回の公演を無料で提供しています。プロ公演ではクラシック音楽、古典芸能、各種の演劇を中心に国内外のアーティストを招いて、多種多様な公演を企画しています。本学学生の課外活動団体の公演では、学生たちの日頃の研鑽の成果をみなさまにご披露させていただいております。

第430回 マウロ・イウラート、伊藤ルミ、デュオ・リサイタル ~ブラームス・シリーズⅠ~

出演/マウロ・イウラート(ヴァイオリン)、伊藤ルミ(ピアノ)

- 曲目 ●ブニャーニ 「ラルゴ・エスプレッシーボ」(ヴァイオリン・ソナタ作品8-3より)
- コレリ 「ヴァイオリンと通奏低音のためのソナタ 二短調 作品5-12『ラ・フォリア』」
- レスピーギ 「メロディ」「伝説」(『5つの小品』より)
- アルビノニ / ジャゾット 「アダージョ」
- モンティ 「チャールダーシュ」
- リスト 「ダンテを読んで〜ソナタ風幻想曲」(ピアノソロ)
- ブラームス 「ヴァイオリンとピアノのためのソナタ 第3番 二短調 作品108」

イタリア出身で、オーストリアを経て現在日本でも活躍中のヴァイオリニスト、マウロ・イウラートさんと、長く神戸で活動されているピアニスト伊藤ルミさんによるデュオ・リサイタルです。前半は、イウラートさんのお国もの、コレリ、レスピーギ、モンティ「チャールダーシュ」といった今昔のイタリアの小曲集、後半は、伊藤さんのソロでハンガリーのリストの作品と、デュオによるドイツのブラームスのソナタ第3番です。ヴァイオリンとピアノによって描き出される、濃密で表情豊かなイタリア音楽と重厚で構築的なドイツ音楽、ロマンティックで神秘的なハンガリー人リストのピアノ曲、それぞれの魅力を、たっぷりとお聴きください。

今季の2回のプロ音楽公演は、ドイツ・ロマン派音楽の粋、ヨハネス・ブラームスの室内楽作品をそれぞれメインに据えたプログラムです。

第431回 弁士・伴奏付き映画『メトロポリス』上映会

出演者/大森くみこ(弁士)、鳥飼りょう(ピアノ)

- 上映作品 ●『メトロポリス』Metropolis (フリッツ・ラング監督、1927年) フィルム提供 神戸映画資料館

近年、映像とライブパフォーマンスの組み合わせとして、あらたに注目を集めている無声映画の弁士・伴奏付き上映会を開催します。ヨーロッパやアメリカでは現在に至るまで、伴奏付きの無声映画上映が一般的ですが、日本ではそれに加えて、活弁という、無声映画にあわせて弁士が語りをする独自の芸能があったことが知られています。活弁を披露する大森くみこ氏は、兵庫県生まれで関西を中心に活躍する新進気鋭の弁士です。楽士の鳥飼りょう氏も、数多くの無声映画上映会で多彩な伴奏を披露してきました。神戸にゆかりの無声映画とともに、古くて新しい芸能、活弁をお楽しみください。

第432回 神戸学院大学吹奏楽部 第34回サマーコンサート ~新世界~

指揮/松井隆司(音楽監督) 高田颯士(学生指揮者) 長山恵太(学生指揮者) ※本学課外活動団体による公演

- 曲目 ●吹奏楽のための「幻想曲」-アルノルト・シューンベルグ讃 ●大仏と鹿 ●翔陽 他

今年のサマーコンサートは創部50年の節目にあたり「新世界」と題しました。歴史に続く未来を臨むステージをお届けしたいと思います。是非神戸学院大学吹奏楽部の新世界を覗きにきてください! 昨今の状況を踏まえ、感染対策を徹底して皆様のお越しをお待ちしております。

第433回 狂言をたのしむ会

- 演目 ●『蝸牛』島田洋海・柴田鉄平・山下守之 ●『口真似』茂山鳳仁・茂山虎真・茂山蓮 ●『二人袴』茂山竜正・茂山千五郎・網谷正美・山下守之 ●『水掛簪』茂山茂・松本薫・島田洋海

コロナ禍でたいへんな苦労を強いられる状況ですが、だからこそ、みなさんに明るく楽天的に笑っていただきたいと狂言会を企画して、今回はいつも以上にとびきり笑いの多い演目を並べました。またもう一つ話題は、千五郎師と茂師のご子息たち4人が勢ぞろいで出演することです。これからの狂言界を支える千五郎家の新芽たちの元気にあふれた舞台、きっとお楽しみいただけると思います。

第434回 アフター・アワーズ・セッション ピアノ三重奏によるコンサート ~ブラームス・シリーズⅡ~

出演/ギオルギ・バブアゼ(ヴァイオリン)、日野俊介(チェロ)、右近恭子(ピアノ)

- 曲目 ●フランツ・ヨーゼフ・ハイドン ピアノ三重奏曲ト長調 HOB XV25 「ジブシー・ロンド」
- ルードヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン ピアノ三重奏曲 第5番 二長調 作品70-1 「幽霊」
- ヨハネス・ブラームス ピアノ三重奏曲 第1番 ロ長調 作品8

ヴァイオリン、チェロ、ピアノによる合奏、ピアノ三重奏の演奏会です。ピアノ三重奏は、クラシック室内合奏の主要なものの一つで、ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンのウィーン古典楽派によって確立されました。後輩であるロマン派のブラームスもこの様式を踏襲し、3曲の充実した作品を残しています。今回はその歴史を辿るように、モーツァルトを除く3人の作品を順に上演いたします。演奏は、団体アフター・アワーズ・セッションから当該楽器のお三方です。後半すべてを費やして演奏されるブラームスの三重奏曲第1番は、40分を要する長大な音楽で、若きブラームスの気概を感じさせる大作です。深い情感と溢れるような情熱を古典的様式に収めることで、音楽は、凛とした気品と起伏に富む雄大なスケール、立体的とも言える構築感を獲得しています。今季音楽プログラムの、2回に渡るブラームス・シリーズを是非お聴きください。

出演者の希望で曲目・演目が変更されることがあります。ご了承ください。